

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☐ 一般学生 ☒ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	外国語（日本語）問題
出題の意図	外国語（日本語）問題 受験する留学生は日本語で書かれた学術的な文書を精読し、用語や表現、論点などを適切に把握する力を測る。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室 外国語（日本語）2 月実施

番号		氏名	
----	--	----	--

別紙の問題文は、牧野成一(1996)『ウチとソトの言語文化学』（アルク）に収録されている「第7章 授受動詞—共感とヒエラルキーのシンタックス—」の一部である。これを読んで、次の問いに答えなさい。解答はすべて解答用紙に問題番号を書いてから日本語で書きなさい。ただし、日本語以外の言語を引用する場合はその言語を解答に用いて良い。

- 問 1, 問題文では、「ウチの人」とはどのような人だと説明していますか。問題文に即して、解答用紙の 2 行程度で説明しなさい。
- 問 2, 問題文の (2b) がなぜ非文になるのかを問題文に即して 3 行程度で説明しなさい。
- 問 3, 筆者はなぜ「ウチ人称」「ソト人称」という文法用語の採用を提案しているのか簡潔に説明しなさい。
- 問 4, 問題文のなぜ (3a) で「僕」「君」が使えず、(3b) で「通行人」が非文になるのかを「ウチ人称」という観点から問題に即して説明しなさい。
- 問 5, 問題文の (8a?) を日本語として違和感のない文に直しなさい。またどうしてそのように直したのか説明しなさい。
- 問 6, 自分の母語について内省し、母語にあるやりもらい表現と日本語のやりもらい表現を比較しながら (11a-14b) の例文を使って自由に解答用紙の 10 行以上で論述しなさい。必要であれば母語の例文を挙げても良いが、その場合は、例にならって日本語のグロス（逐次訳）を母語の例文の下に示しなさい。

(例) 我 是 海外学生
私は です 留学生

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会科学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会科学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☐ 一般学生 ☒ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識問題
出題の意図	基礎知識問題 日本語教育学やその関連分野において基礎的概念をどこまで理解しているか、そしてそれを簡潔に解説できる力を持っているかを問う。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室 専門分野基礎知識 2 月実施

番号		氏名	
----	--	----	--

次の中から 8 題を選び、それぞれについて 300 字程度で述べなさい。1 題ごとに 1 枚の解答用紙を用いて、受験番号と氏名、選んだ問題番号と題目を一行目に明記しなさい。解答は横書きにしなさい。

1. 破裂音
2. 有対自他動詞
3. 状況的学習論
4. 日本語教育の参照枠
5. 母音の無声化
6. YNU 書き言葉コーパス
7. 母語干渉
8. 非情の受身
9. 準体助詞
10. アクション・リサーチ
11. TBLT
12. スキャフォールディング
13. エスノグラフィー
14. DLA
15. 命題

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☐ 一般学生 ☒ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文問題
出題の意図	論文問題 日本語教育学分野の高度な概念を総合的に論述する能力を測定する。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室 論文 2 月実施

番号		氏名	
----	--	----	--

次の問題から 1 題を選び、論じなさい。選んだ番号と題目を解答用紙の一行目に明記しなさい。解答は横書きにしなさい。

1. 社会言語学研究における言語外的要因と言語内的要因
2. 学習者の個人差要因と指導法
3. トランスランゲージングと日本語教育
4. 語の用法・機能の調査にコーパスを用いる利点と欠点
5. 日本語の形態素と助動詞の関係